



# 直峰通信

令和4年9月16日(金)発行

## キャリア教育

2年生は、8月1日(月)～8月5日(金)の期間内に3日間、上越市内の8つの事業所においてインターンシップ(企業での就業体験)を実施しました。働くことの意義を考え、また社員の方からの指導のもと実務に近い仕事を体験できたことから、自己の適性を把握することができ、業界研究や職種理解の一助となりました。また、9月5日(月)、学年内で発表会を実施しました。「働くということ、職場の雰囲気をつかんだだけではなく、働く上でのコミュニケーションの大切さ」を学んだという発表が多く、実りの多い研修となりました。



3年生は、8月25日(木)、26日(金)にハローワーク上越ジョブサポーター、(株)さんぼうの方にご協力をいただき、進学希望者・就職希望者ともに面接指導をしていただきました。就職希望者は、求人票公開から応募前企業見学を経て応募先を、進学希望者はオープンキャンパスで実際に目にして経験したことを踏まえ、自己分析を進めながら志望動機を固めました。いよいよ出陣です。



進学希望者:オープンキャンパスでの体験に基づき  
願書や志望理由書を作成しています。



就職希望者:模擬面接。生徒はお互いに面接を見ること  
で良い刺激になりました。

## 人権学習「命を守る教室」

9月1日(木)、人権学習の一環として、上越中央法律事務所、田中淳哉弁護士をお招きし、「命を守る教室～薬による健康被害を防ぐには～」と題し、命を守る教室を実施しました。この講演では、過去の薬害事件を通じて、薬との正しい付き合い方、薬の安全性を高めるためにできることの2点を理解することを目標に行われました。薬の副作用と副作用、薬害の歴史、身近にある副作用被害から私たちができることなど、分かりやすくお話していただきました。また、薬害被害者である荒井昌子さんから直接、話を聞くことができました。荒井さんは、出産の際に大量の出血があり、止血剤として投与された血液製剤(フィブリノゲン製剤)にウイルスが混入していたため、C型肝炎を発症し、療養を余儀なくされました。肝炎患者であるからと、差別を受けた経験なども話してくださいました。講演後、「まずは薬害について知ってもらうことが大切。今日一日で理解することは難しいと思うが、被害者の気持ちを忘れないでほしい。」「(現在も定期的に検診を受け、不安と闘いながらも)同じように苦しむ人たちのために、薬害のことを広めるために活動している。」と生徒に訴えました。当日は、テレビ局や新聞社、4社の取材があったため、生徒たちは普段よりも緊張した様子でしたが、荒井さんの話に頷きながら、真剣にメモを取って聞いていました。生徒の感想から一部抜粋したものを紹介します。

「薬の良い面と悪い面について改めて知ることができました。」「新薬の導入を早く望む人がいる中、自分も薬と向き合い今日の授業をしっかりと覚えておきたいと思った。」「薬害についてニュースでは耳にしたことがあるが、実際に被害に遭われた方のお話を聞き、差別的な扱いを受けていたことが分かりました。」



## 10月の主な行事

- 10月4日(火) 思春期講座
  - 10月5日(水)～ 授業公開月間
  - 10月9日(日) えちご・くびき野 100 km マラソン  
ボランティア(希望者)
  - 10月12日(水)～10月15日(土) 修学旅行  
(3年:九州方面、2年:広島・京都)
  - 10月17日(月) 修学旅行代休
  - 10月21日(金) 校内マラソン大会
  - 10月26日(水) 人権教育③(人権教育講演会事前指導)
- ※11/10(木) 人権教育講演会(保護者の方にはご案内いたします)



「直峰通信」の題字を書いてくださった書道の津幡先生より3年生へ向けての色紙です。全員無事に合格し、もう一つの目が入ることを祈っています。



## 新潟県立高田高等学校安塚分校

【担当:教頭 滝澤 祐樹】

〒942-0411 上越市安塚区下方 129 番地

Tel 025-592-2306

FAX 025-592-3541

HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

mail school@takadayszk-h.nein.ed.jp